

平成8年度～

# 消防秋田

初代会長 松野 盛吉  
 定 額 1部 5円  
 (購読料は年会費を含む)  
 秋田市中通4丁目3-23  
 消防協会 二部  
 秋田県 田 康二部  
 会 社 電話 0188-32-3791  
 FAX 0188-34-2706  
 郵便番号 010  
 印刷 秋田市山王7丁目5-29  
 株式会社 松原印刷社  
 電話 0188-62-8760

平成  
7年度

## 消防功労者表彰式

三月十九日 秋田県正庁



平成七年度消防功労者表彰式は、三月十九日午後一時から県正庁において、来賓・受章者など多数参列のもとに厳粛に挙行された。この表彰式は、優良消防団・年間無火災町村の知事表彰をはじめ去る二月九日東京虎ノ門・日本消防会館ニッショーホールにおいて授与された日本消防協会長表彰・また三月六日に同所にて授与された消防庁長官表彰などの伝達が同時に行われた。また、無火災消防団に対して、県消防協会から表彰状が贈呈されるとともに比内町消防団の特別表彰「まとい」の受賞などが披露された。晴れの受章に浴した消防機関および消防関係者は次のとおりである。

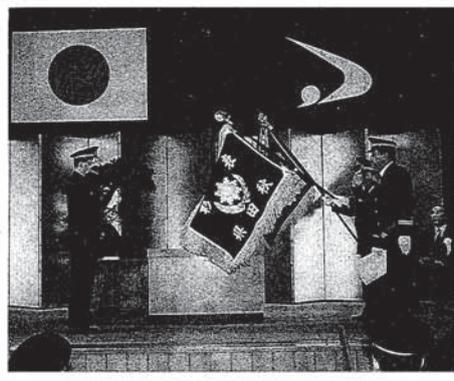
### 消防庁長官表彰

- ◎表彰旗(1団) 大曲市消防団
- ◎功労章(2名) 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防正監 山崎 敏彦 横手市消防団 団 長 寺田 博壽
- ◎永年勤続功労章(57名) 秋田市消防本部 消防司令 齋藤 善雄 鹿角広域行政組合消防本部 消防司令補 山口喜八郎 大館周辺広域市町村圏組合消防本部 消防監 原 亮可 大館周辺広域市町村圏組合消防本部 消防司令 成田 正市 鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部 消防司令補 島山 虎雄
- 男鹿地区消防一部事務組合消防本部 消防司令 島山 憲悦 湖東地区行政一部事務組合消防本部 消防司令 伊藤 武雄 仁賀保地区消防組合消防本部 消防司令 阿部 實 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令 阿部 實 秋田市消防団 分団長 加賀谷孝一 能代市消防団 分団長 幸坂 十郎 能代市消防団 分団長 佐藤 吉郎 横手市消防団 分団長 高橋 良二
- 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令 佐藤 正夫 湯沢市消防団 消防正監 佐藤 正夫 湯沢市消防団 分団長 武石 貞雄 秋田市消防団 分団長 齋藤 博 秋田市消防団 分団長 朝倉金一郎 秋田市消防団 分団長 加賀谷孝一 秋田市消防団 分団長 幸坂 十郎 能代市消防団 分団長 佐藤 吉郎 横手市消防団 分団長 高橋 良二

平成八年度全国統一防火標語  
 “便利さに 慣れて忘れる  
 火のこわさ”

### 秋田県知事表彰

- ◎優良消防機関 (1)表彰旗(1団) 仙南村消防団 (2)羊頭綬(2団) 本莊市消防団 二ツ井町消防団
- ◎平成七年無火災市町村 (6町村) 八森町 飯田川町 大雄村 稲川町 雄勝町 東成瀬村



### 日本消防協会会長表彰

- 分団長 高橋 良二 阿仁町消防団 分団長 佐藤 金一 大館市消防団 副団長 田村 政一 大館市消防団 分団長 齋藤 祐一 本莊市消防団 分団長 齋藤 祐一 本莊市消防団 分団長 渡部 侃 男鹿市消防団 分団長 小野 健一 湯沢市消防団 分団長 浅井勇三郎 湯沢市消防団 分団長 鎌田 安八 湯沢市消防団 分団長 菅 清 湯沢市消防団 副分団長 遠田 理助 湯沢市消防団 副分団長 菅原 喜一 湯沢市消防団 分団長 石川久米雄 大曲市消防団 副分団長 伊賀多一郎 大曲市消防団 分団長 間瀬 堅一 大曲市消防団 分団長 岩本 進 大曲市消防団 分団長 土佐 勝男 大内町消防団 分団長 佐々木一男 角館町消防団 分団長 菅原興太郎 角館町消防団 分団長 塩田喜久雄 本郷町消防団 分団長 菅原 善博 中仙町消防団 分団長 菅原 善博 協和町消防団 分団長 佐藤 憲男 南外町消防団 分団長 佐藤 憲男 西水町消防団 分団長 佐藤 憲男 仙南村消防団 分団長 關藤 幸雄 仙南村消防団 分団長 小林 薫 増田町消防団 副団長 松井 剛一 大森町消防団 分団長 渡邊 憲一 大森町消防団 分団長 福田九郎左衛門 雄勝町消防団 副団長 鈴木 實 羽後町消防団 分団長 佐々木昭一



### 特別表彰

- ◎特別表彰(1) 比内町消防団 (1)表彰旗(2団) 山本町消防団 仁賀保地区消防団 (2)羊頭綬(3団) 阿仁町消防団 井川町消防団 太田町消防団
- ◎優良婦人消防隊(1隊) 大内町岩谷町婦人消防隊
- ◎功績章(22名) 大館周辺広域市町村圏組合消防本部 消防監 原 亮可 大館周辺広域市町村圏組合消防本部 消防目付消防本部 消防監 渡邊 昭蔵 秋田市消防団

### 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
 TEL (0182) (32)3880

#### (営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- ターボポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

- 森田 ポンプ
- 桜ホース・ソフト吸管
- 各種消火器
- ラビットポンプ
- 消防被服一式
- 消防器械一式

### 株式会社 協立 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016  
 TEL (0185) (52)6361  
 (52)6494

消防施設工事 秋田県知事許可(般-50)4370号  
 指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)  
 秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト  
 (保守点検)が決めて!



### 消防設備の点検設置のご相談は 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)  
 火災報知設備・消防ポンプ・消火器

秋田市土崎消防署飯島出張所の新庁舎が三月下旬秋田市飯島字前田表に完成し、去る三月二十八日竣工式を挙げて新築落成を祝った。

秋田市では、消防防災体制の充実強化を市政の重点目標として推進して、その施策の一環として飯島出張所が建設されたもので、秋田市北部地区の消防力の増強と、高速道路「秋田自動車道」の平成九年度中の開通を見据えたものとなっている。

新出張所は、耐火性に優れた庁舎構造で、職員の仕事の区画化や体力錬成のため体育スペースを確保した近代的な庁舎で、また、各種災害に対応するための総合的訓練のできる訓練塔を併設しており、北部地区

### 秋田市北部地区の防災拠点 土崎消防署飯島出張所竣工

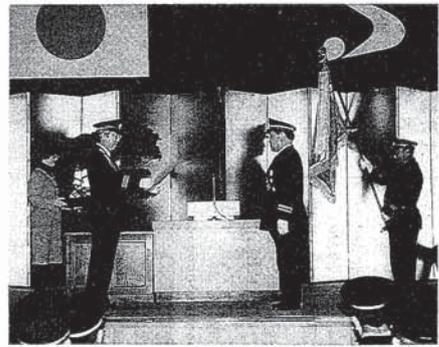


置して四月一日から業務を開始した。

出張所の概要は次のとおり。

- 敷地面積・一、九八〇・五三㎡
- 庁舎構造・鉄筋コンクリート二階建
- 建築面積・五四一・八四㎡
- 延べ面積・八五五・〇〇㎡
- 一階・事務室、休憩室、仮眠室、車庫
- 二階・体育錬成室、会議室、器具庫他
- 訓練塔・鉄筋コンクリート六階建二五三・五㎡
- 副塔・鉄骨二階建、五八・八㎡
- 放水機体・巾八m、高さ四m
- 総事業費・三四四・五五九千円

- (オモチのつゝき)
- 大森町消防団 分団長 渡辺 憲一
  - 十文字町消防団 分団長 佐藤 幸作
  - 山内村消防団 副団長 向川 松弘
  - 稲川町消防団 副団長 熊谷 喜一
  - 羽後町消防団 分団長 島山 重弘
  - ◎精進章(54名)
  - 大館周辺広域市町村圏組合消防本部 成田 正市
  - 消防司令 大瀧 幸蔵
  - 本荘地区消防事務組合消防本部 大場 孝一
  - 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 山崎 堅治
  - 消防監 山崎 堅治
  - 横手平鹿広域市町村圏組合消防本部 高橋 茂喜
  - 秋田市消防団 分団長 高橋 裕一
  - 分団長 杉谷 勲
  - 分団長 三浦 利男
  - 分団長 高橋 佐久男
  - 分団長 小林 照夫
  - 分団長 高橋 宗一
  - 大館市消防団 副団長 小坂 正倫
  - 本荘市消防団 分団長 石川 久
  - 本荘市消防団 分団長 池田 幹生
  - 男鹿市消防団 分団長 三浦 竹一
  - 湯沢市消防団 分団長 伊藤 勝美
  - 湯沢市消防団 副団長 新田庄 一郎
  - 鹿角市消防団 分団長 土館 大次
  - 鹿角市消防団 分団長 工藤 確二郎
  - 鷹巣町消防団 分団長 宇津野 真
  - 大内町消防団 分団長 細谷 隆一
  - 西目町消防団 副団長 高橋 久
  - 鳥海町消防団 分団長 太田 里三
  - 神岡町消防団 分団長 細谷 隆一
  - 角館町消防団 分団長 菅原 清康
  - 六郷町消防団 分団長 坂本 盛一
  - 田沢湖町消防団 分団長 太田 邦助
  - 協和町消防団 分団長 進藤 富美雄
  - 千畑町消防団 分団長 藤原 重一郎
  - 平鹿町消防団 分団長 菅原 俊明
  - 雄物川町消防団 分団長 石塚 彦一
  - 大森町消防団 分団長 伊藤 吉次
  - 十文字町消防団 分団長 小川 健吉
  - 山内村消防団 副団長 下村 勲
  - 大雄村消防団 分団長 高橋 虎男
  - 稲川町消防団 分団長 加藤 昭悦
  - 雄勝町消防団 分団長 樋口 猛
  - 羽後町消防団 分団長 佐藤 勝太郎
  - 東成瀬村消防団 分団長 半田 佳雄
  - 皆瀬村消防団 副分団長 今野 力可
  - ◎優良婦人消防隊員(1名)
  - 五城目町上慈地婦人消防隊 佐々木 昌子



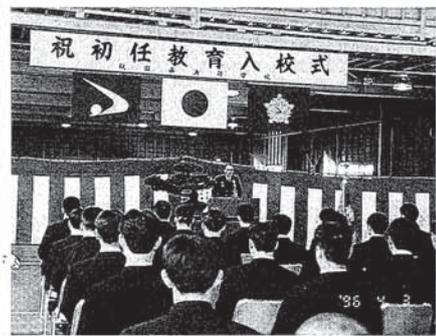
防ポンプ自動車一台と出張所長以下十二名の職員を配

### 第五十期 消防職員初任教育入校式

平成八年度秋田県消防学校消防職員初任教育(第五十期)の入校式が四月三日午前十一時から、各消防本部から六十三名の入校生を迎え、佐藤生活環境部長、柴田消防協会長はじめ各消防長など多数の来賓と父兄約四十名が列席して行われた。

この初任教育は、各消防本部の新規採用職員に対し、消防職員として必要な知識・技能の修得と強い精神力・体力を養成するため行われるものである。

入校式は、入校生の発表のあと、魚田校長から、これからの六カ月間は、チャレンジ精神を發揮し、失敗を恐れないで、先んじて各



### 消防学校

種訓練を取り組み、数多くの経験を積んでほしいと挨拶があった後、生活環境部長から励ましの言葉がおく

入校生六十三名は、次のとおりである。

(消防本部名)

- 秋田 市 10名
- 鹿角広域行政 9名
- 大館周辺広域 6名
- 鷹巣阿仁広域 6名
- 二ツ井藤里町 3名
- 能代地区 4名
- 山本南部地区 1名
- 湖東地区 6名
- 男鹿地区 2名
- 河辺雄和地区 2名
- 本荘地区 4名
- 仁賀保地区 2名
- 大曲仙北広域 2名
- 横手平鹿広域 6名
- 湯沢雄勝広域 5名

- 分団長 小松 良男
- 千畑町消防団 分団長 藤原 重一郎
- 平鹿町消防団 分団長 菅原 俊明
- 雄物川町消防団 分団長 石塚 彦一
- 大森町消防団 分団長 伊藤 吉次
- 十文字町消防団 分団長 小川 健吉
- 山内村消防団 副団長 下村 勲
- 大雄村消防団 分団長 高橋 虎男
- 稲川町消防団 分団長 加藤 昭悦
- 雄勝町消防団 分団長 樋口 猛
- 羽後町消防団 分団長 佐藤 勝太郎
- 東成瀬村消防団 分団長 半田 佳雄
- 皆瀬村消防団 副分団長 今野 力可
- ◎優良婦人消防隊員(1名)
- 五城目町上慈地婦人消防隊 佐々木 昌子



### 秋田県消防協会長表彰

◎平成七年優良消防機関(6団)

- 大雄村消防団
- 稲川町消防団
- 雄勝町消防団
- 東成瀬村消防団



平鹿郡雄物川町消防団団長  
石川 順次郎

2月の火災発生件数(全県)

区 分	建物	その他	死者	り災世帯
2月	37	9	5	36
計(A)	87	17	8	76
前(1)年計(B)	43	6	5	43
前(1)年比増減(A-B)	44	11	3	33

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

トーチハツ小型動力ポンプ  
森田自動車ポンプ  
消防服 各種  
消防被服 各種  
消防器具 各種  
消防器具 各種

〒012-01 本社 秋田県稲川町 電話(0183)(42)2125  
〒019-05 十文字町本町 電話(0182)(42)0032

消防団員のための  
消防互助年金

10年確定年金  
10年保証終身年金

特別年金

年金は毎年3%複利で増

年金開始前の死亡・解約に一時的掛金払込中に死亡の場合は外に弔慰金

加入申込みは消防事務担当へ



# 平成七年(一月~十二月)における 火災の概要について

## 消防庁

一 総出火件数は二七八件の減少  
平成七年における総出火件数は六二、九七四件である。このうち、爆発のみの火災を除くと六二、七三七件であり、これについて前年同期と比べると、二七八件の減少である(平成六年以前の火災統計では、爆発のみの火災を除いては、以下同じ)。  
なお、阪神・淡路大震災における火災の件数はこのうち二八五件である。そのうち建物火災が二二二件、車両火災が六件である。火災種別ごととみると、林野火災は四三三件、船舶火災は一四四件、航空機火災は一件、その他の火災は一三〇件、それぞれ減少し、建物火災は一五五件、車両火災は一八五件、それぞれ増加している。  
二 火災による死者は四九〇人増加、負傷者は一八〇人減少  
火災による死者数は全死者で二、三九六人である。このうち爆発による死者を除くと二、三八八人であり、前年同期と比べると、四九〇人の増加である。なお、阪神・淡路大震災における火災による死者はこのうち五五九人である。火災種別ごととみると、建物火災は五二四四人、林野火災は一七一人、船舶火災は一人、それぞれ増加し、車両火災は十八人、航空機火災は一人、その他の火災は三三一人、それぞれ減少している。  
火災による負傷者数は、全負傷者で七、〇三九人である。このうち爆発による負傷者を除くと六、八二一人で、前年同期と比べると、一八六人の減少である。火災種別ごととみると、建物火災は二〇六六人、林野火災は一八一人、車両火災は二五人、船舶火災は三人、航空機火災は二人、それぞれ減少しているが、その他の火災は七十八人増加している。  
三 火災による死者(爆発を除く)の四五・四％は乳幼児及び高齢者  
死者について、年齢層別にみると、死者全体は四五・四％、建物火災においては五〇・八％が五歳以下の乳幼児及び六五歳以上の高齢者である。  
建物火災における死者のうち、居住建物(住宅、共同住宅、併用住宅)における死者は六二・九％であり、乳幼児及び高齢者においては、六四・三％を占めている。  
四 出火原因の第一位は「たばこ」続いて「放火」「たき火」  
全火災を出火原因別にみると、「たばこ」(一七・一％)、全火災を出火原因別にみると、「たばこ」(一九・五％)、放火(九・四％)、たき火(八・九％)、放火の疑い(八・一％)の順である。  
爆発を除いた火災について、火災種別ごととみると、建物火災においては、「たばこ」(一六・〇％)、「たばこ」(一六・七％)、「たばこ」(一六・〇％)の順である。  
林野火災では、「たき火」(二二・七％)、「たばこ」(一五・七％)、「たばこ」(一五・七％)、「たばこ」(一五・七％)の順である。  
車両火災においては、「たばこ」(一七・一％)、「たばこ」(一七・一％)の順で、これらで車両火災の約四分の一を占める。  
その他の火災においては、「たばこ」(二〇・五％)、「たばこ」(一四・三％)の順で、これらでその他の火災の三分の一以上を占めている。  
五 全国の概況  
出火件数  
平成七年における総出火件数は六二、九七四件で、これは、一日あたり一七三件、約八分に一件の火災が発生していることとなる。なお、このうち爆発のみの火災は二二七件である。  
次に火災種別ごととみると、以下のとおりである。  
なお、車両火災のうち、自動車火災が六、九三七件、鉄道火災が二七件、付いて消防長に就任した。  
大曲市消防本部消防長 山崎 堅治  
消防正監 伊藤 弘  
五城目町消防本部消防長 消防正監 伊藤 弘  
合消防本部消防長 消防正監 山崎 堅治  
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部消防長 消防正監 柴田 勝朗  
合消防本部消防長 消防正監 柴田 勝朗

建物火災	34,588件	全火災の55.7%
林野火災	4,101件	同 6.5%
車両火災	6,959件	同 11.1%
船舶火災	127件	同 0.2%
航空機火災	2件	同 0.0%
その他の火災	17,197件	同 27.3%

死者	490人(25.8%)	増加
負傷者	186人(2.7%)	減少

### 新消防長紹介

男鹿地区消防本部消防長 消防正監 笹原 萬良  
(かさはら・まんりょう)  
昭和十四年三月二十五日生まれ五十七才、昭和三十三年五月二十日男鹿市役所職員、総務係長、課長補佐、参事、平成二年十一月日男鹿市教育委員会総務課長、本年四月一日教育次長、本年四月一日付で消防長に就任した。

(いとう・ひろし)  
昭和十一年十二月十四日生まれ五十九才、昭和三十年八月五城目町役場職員、昭和六十三年四月建設課長、平成元年五月宮城課長、二年四月都市整備課長、四年四月商工観光課長、本年四月一日付で消防長に就任した。

(やまざき・けんじ)  
昭和十六年十一月二十八日生まれ五十四才、昭和三十一年八月十日消防士、本部長、課長補佐、主任、課長、角館消防署長、大曲消防署長、平成七年四月一日消防部長兼本部長、本年四月一日付で消防長に就任した。

(さいとう・やすし)  
昭和十三年一月三日生まれ五十八才、昭和三十一年五月十日消防士、本部長、課長補佐、主任、課長、湯沢消防署副署長を歴任、本年四月一日付で消防長に就任した。

(しばた・かつら)  
昭和十三年一月十七日生まれ五十八才、昭和十四年五月十六日消防士、署長、務係長、予防係長、本部長、総務係長、課長補佐、主任、課長、湯沢消防署副署長を歴任、本年四月一日付で消防長に就任した。

焼損棟数	53,576棟 (147棟/1日 1.6棟/件)
り災世帯数	49,224世帯 (135世帯/1日 1.4世帯/件)
建物焼損床面積	2,550,395㎡ (6,987㎡/1日 74.1㎡/件)
建物焼損表面積	171,676㎡ (470㎡/1日 5.0㎡/件)
林野焼損面積	202,643 a (555 a/1日 49.4 a/件)
損害額	1,928億2,135万円 (5億2,828万円/1日 306万円/件)

多い順	少ない順
兵庫県 891,571㎡	沖縄県 9,607㎡
北海道 89,150㎡	福井県 11,539㎡
埼玉県 85,278㎡	鳥取県 11,656㎡
福岡県 82,474㎡	滋賀県 14,026㎡
大阪府 78,215㎡	徳島県 14,027㎡

多い順	少ない順
兵庫県 9,486棟	福井県 222棟
東京都 5,048棟	富山県 241棟
大阪府 3,397棟	沖縄県 251棟
埼玉県 2,535棟	鳥取県 270棟
神奈川県 2,160棟	島根県 326棟

六 都道府県別の概況  
総出火件数の多い順及び少ない順は以下のとおりである。  
一 都道府県別の概況  
二 焼損棟数の多い順及び少ない順は以下のとおりである。  
三 建物焼損床面積の多い順及び少ない順は、以下のとおりである。

二 焼損棟数の多い順及び少ない順は、以下のとおりである。  
三 建物焼損床面積の多い順及び少ない順は、以下のとおりである。

消防設備はソフト(保守点検)が決めて!  
消防設備の点検設置のご相談は  
**猿田興業株式会社**  
秋田山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

総合防災設備センター  
**株式会社 高義商会**  
トハツ小型動力ポンプ各種  
森田自動車ホース各種  
消防防犯器具各種  
消防防犯器具各種  
消防防犯器具各種  
〒012-01 本社 秋田県稲川町 電話(0183)(42)2125  
〒019-05 十文字町本町 電話(0182)(42)0032

### 防火作文コンクール

五城目町消防本部  
五城目町防火予防組合では、少年少女の防火意識を高めるとともに町民の防災思想の普及向上をはかるため、毎年町内小学生から防火作文を募集している。本年もさる二月份防火作文コンクールを実施したところ、六小から三十九名の応募があり、審査の結果、最優秀賞に内川小学校小玉朋幸君、また優秀賞には七名の方々の作文が選ばれた。

最優秀賞  
五城目町立内川小学校  
五年 小玉 朋幸

山に行ったら大人の人たばこをすって、そのたばこを投げると、山が火事になることがあるので、山に行く人は、じゅうぶんに注意してほしいと思います。  
本で調べると、全国で一日に火事が約百五十件起き、死んだ人は約十八人、けがをした人は約千八百人、けがをした人は約六千九百人です。そして、一年間の火災の額は、約千三百億です。火災のほとんどは、ぼくたちが注意していれば、あまり起こらないと思います。



新団長紹介

男鹿市消防団団長

齊藤謙蔵



(おひらき・けんざい)

昭和六年十月二十日生まれ六十四才。昭和二十一年一月一日入団。班長、副分団長、分団長を経て平成五年十月一日副団長、本年三月十六日付で団長に就任した。(無職)



魚住吉二

(おひらき・あつち)

昭和九年一月一日生まれ六十二才。昭和三十一年七月一日入団。部長、副分団長、分団長を経て平成七年四月一日副団長、本年四月一日付で団長に就任した。(無職)



戸澤幹夫

(おひらき・あきひ)

昭和十一年五月十三日生まれ六十才。昭和三十八年一月一日入団。班長、部長、副分団長を経て平成七年四月一日分団長、本年四月一日付で団長に就任した。(農業)

的確な情報収集と伝達

災害監視システム運用開始

秋田市消防本部

秋田市では、昨年の一月十七日に発生した阪神、淡路大震災の教訓を踏まえ、地震等による大規模災害が発生した場合の情報収集伝達体制の充実強化を図る目的で総額、約三億一千八百万円で災害監視システムを導入しました。このシステムは高所監視カメラと衛星地球局で構成されており、

高所監視カメラは、土崎港西一丁目にある市内で最も高いポイントタワーセロ二〇mの電波塔(高さ約一二〇m)の位置、市街地の中心部、中通二丁目にある秋田アトリオンビル株式会社の屋上(高さ約六十一m)の位置と、豊岩壘にある秋田市水道局浄水場の屋上(高さ約十七m、海拔



約四十八m)の三箇所に、三十三倍のズームレンズ付き昼夜間兼用の高感度カラーカメラを設置して、市街地のほぼ全域をモニターすることができ、高所監視カメラの操作は、それぞれの箇所に直径三mのラビアンテナを取り付け、消防本部庁舎屋上に設置しました。

ラビアンテナを取り付け消防本部庁舎から多重無線を使って遠隔操作します。

衛星地球局は、出力二七〇Wの無線機に直径四・五mのパラボラアンテナを取り付け、消防本部庁舎屋上に設置しました。

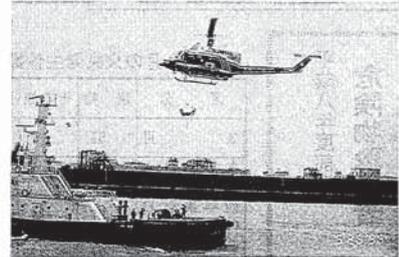
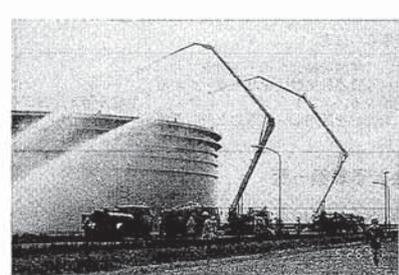
高所監視カメラは常時市内にモニターして火災、救助等の災害を確認するためにも活用し、また無線電話による通話もできます。

この装置の運用にあたり、五月十四日消防団長官と秋田市市長(石川謙治郎)と映像による記念対談を行いました。なお、本市の衛星通信番号は〇五〇一〇〇一一二〇です。

県民防災の日

石油コンビナート区域(男鹿)で地域住民も参加して防災訓練

秋田県石油コンビナート等防災訓練が、五月二十六日(日)、午前十時から正午まで男鹿地区石油コンビ



ナート等特別防災区域で、防災関係機関及び住民約六〇〇名が参加して実施された。

この訓練は、毎年十月に行われていたが、今年からは「県民防災の日」に合わせて開催したもので、同日午

前九時秋田県沖(男鹿沖)を震源とするマグニチュード七・七の地震が発生し、男鹿市では震度五・六を記録したほか九時四十分東北地方の日本海沿岸に津波警報が発せられたとの想定で行われた。

秋田石油備蓄株式会社男鹿事業所ではタンク火災が発生し、タンクに固定された消火設備の作動訓練、高所放水車、化学車による消火活動が行われ、防油堤法面で転倒した負傷者の救出と救急による搬送を行った。株式会社ジャパニエナジー1船川製油所では第三常圧装置の蒸留塔底部から重

油が漏洩したため火災が発生し、船川製油所特設防災団、男鹿地区消防本部、消防団の消火活動が行った。また、船川公共岸壁では住民約一〇〇人が津波を想定した避難訓練に参加、航空自衛隊、海上自衛隊による給水活動、応急手当、給食の提供などの生活支援活動が行われ、一方海上では原油の流出事故の発生に備えてオイルブームの展開と流出油の回収、海中転落者の救助、ヘリコプターによる負傷者の救助活動など終始緊張のなかで訓練が展開され十二時訓練は無事終了した。

消防団員の服制に関する検討委員会報告書の概要(1)

消防庁消防課

第一章 消防団員の服制及び改正経過  
消防団は平成七年一月十七日に発生した阪神、淡路大震災における目撃し活躍で示されたとおり、地域における消防防災の中核として重要な役割を果たしている。火災時における消火活動のみならず多数の救助活動の必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導、災害防衛活動、さらには地域に密着したき細かい予防活動、啓蒙活動の分野でも地域防災のリーダーとして幅広く活躍しており、期待に対する消防団員としての信頼は大きなものである。しかし、近年都市化による住民の意識の希薄化の傾向、過疎地域における若年層の減少及び国民の就業形態の変化等、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員

数の減少、団員の高齢化、サラリーマン化等の問題が生じてきており、一方災害が複多様化・大規模化しつつあり、消防団の活性化を一層推進することが、喫緊の課題となっている。こうした消防団の現状を打開していくためには、何よりも将来にわたり着実に人材を確保する必要がある。そのことに伴い、消防団員数の減少に歯止めをかけることができ、充実した消防団活動の推進が可能となる。また、現在各種活動に従事している消防団員に対しては、現在各種活動に従事している消防団員に對してもさまざまな面で充実させる必要がある。

消防団の服制については、昭和二十五年国家公安委員告示第一号(以下「準則」といふ。)が定められ、その後何度か改正された。昭和五十五年改正によりは現在の服制とほぼ等しい。その後昭和六十二年(一部改正あり)また、女性消防団員の服制については、昭和五十五年(婦人消防団員の服制の制定について、昭和五十五年六月二日付、消防第七四四号、消防庁長官通知以下「通知」といふ。)が定められ現在に至っている。これらの準則等に従い、各市町村がそれぞれ規則により消防団員の服制について定めることとなっている。これらの消防団員に對する服制の制定状況、また、消防団員に對し、現在の服制についての満足度や各種機能面での評価、制服についてのおぼしめしやデザイン等について行った。調査対象となった一五〇団のうち、女性消防団員を採用しているのは、三十七団体(二四・七%)となっ

ている。服制を定めている団体は一四一団体となっており、九二団体(六・〇%)については服制を定めていない。また、女性消防団員が半数近くとなっている。また、服制を定めている団体においても、それぞれが団体の特色や、外装については、七割近くが服制を定めておらず、雨衣については半数以上、乙種衣については約半数が定めていない。

また、服制を定めている団体においては、若くは変更要望が高く、二十代の団員については、女性の作業服、外装については変更要望が半数近くとなっている。制服の見直しの考え方には、準則等で種類例示を、詳細については団体のより決定できる方法を望む声が多くなっている。

維持を望む割合が高くなっているが、若い団員ほど変更要望が高く、二十代の団員については、女性の作業服、外装については変更要望が半数近くとなっている。制服の見直しの考え方には、準則等で種類例示を、詳細については団体のより決定できる方法を望む声が多くなっている。

【お詫びと訂正】

消防秋田五月号(No.507)の新消防長紹介欄に誤りがありました。男鹿地区消防本部消防長 消防監督 原 萬良を原 萬良と訂正するとともに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

森田ポンプ ラビットポンプ 各種消火器 消防被服一式 消防器機一式 株式会社 協立 株式会社 能代消防センター 能代市栄町12の3 TEL (0185) (52) 6361 (52) 6494

消防設備はソフト(保守点検)が決めて! 消防設備の点検設置のご相談は 猿田興業株式会社 秋田市山王六丁目10-9 TEL 63-1551(代) 火災報知設備・消防ポンプ・消火器

前九時秋田県沖(男鹿沖)を震源とするマグニチュード七・七の地震が発生し、男鹿市では震度五・六を記録したほか九時四十分東北地方の日本海沿岸に津波警報が発せられたとの想定で行われた。秋田石油備蓄株式会社男鹿事業所ではタンク火災が発生し、タンクに固定された消火設備の作動訓練、高所放水車、化学車による消火活動が行われ、防油堤法面で転倒した負傷者の救出と救急による搬送を行った。株式会社ジャパニエナジー1船川製油所では第三常圧装置の蒸留塔底部から重油が漏洩したため火災が発生し、船川製油所特設防災団、男鹿地区消防本部、消防団の消火活動が行った。また、船川公共岸壁では住民約一〇〇人が津波を想定した避難訓練に参加、航空自衛隊、海上自衛隊による給水活動、応急手当、給食の提供などの生活支援活動が行われ、一方海上では原油の流出事故の発生に備えてオイルブームの展開と流出油の回収、海中転落者の救助、ヘリコプターによる負傷者の救助活動など終始緊張のなかで訓練が展開され十二時訓練は無事終了した。



# 消防団員の服制に関する 検討委員会報告書の概要(2)

消防庁消防課

第一章 消防団員の服制及び改正経過  
第二章 消防団員の服制に関する実態調査結果

## 1 甲種衣 (男性)

服制を定めている団体のうち、ほとんどが準則に準じたものを採用しているが、色の異なるものが団体・デザインで異なるものが三団体となっている。  
なお六団体については甲種衣が定められていないが、これは乙種衣(法被)のみを定めているためである。

## 2 乙種衣 (女性)

服制を定めている団体のうち約八二・一%が日本消防協会デザインのものを用いている。消防庁長官通知に準じている団体は三団体(八二・一%)となっている。満足度は、満足、ほぼ満足が八三・一%を占めているが、回答対象が日本消防協会デザインを採用している団体に偏っているためである。一部で刺子のものを採用しているためと思われる。

## 3 盛夏衣

七六・六%が準則に準じている。満足度については七二・四%が満足、ほぼ満足となっている。見直し要望については三六・九%となっている。制服のデザインの変更ではなく半袖の要請が多いが、基本的なデザインの変更ではなく半袖の要請が多い。その他制服の評

## 4 作業衣 (男性)

八五・八%が準則に準じている。満足度については七九・九%が満足、ほぼ満足となっている。見直し要望については三九・八%を占めている。災害活動等に要請があり、災害活動等に要請があるためと思われる。

## 5 防火衣

七五・九%が準則に準じている。回答しているが、無回答七団体(定めていない)を考慮すると服制を定めている団体は八九・九%が準則に準じている。満足度については七五・二%が満足、ほぼ満足と回答しているが、回答対象は二八・四%、ふさわしい色については銀、紺、オレンジ、ブルー等意見が

## 6 外一着

六八・一%が採用しているが、準則で色の指定がないため、各団体によって異なることによる目立つ色を選択している。  
その他  
その他記述式で意見を聞いたところでは、暗帽、ネクタイ、作業衣の意見が多い。暗帽についてはアポロキャップを採用して欲しいとの意見が多くなっている。作業衣についての意見は、災害現場での活動の改良の要望が多い。準則の中では決められていないが、ネクタイについては生地、デザインの意見がある。他、明るい色を採用している団体の数は、不祝儀の際の色の変更(悪)を希望する意見があった。

# 高度な救助技術を駆使し 消防救助技術秋田県大会を開く

六月二十七日(木)岩城町の県消防学校において、秋田県消防長会主催の「第二十五回消防救助技術秋田県大会」が開催された。  
この大会は、高度な救助技術を練磨し、またいかなる災害活動にも耐えうる強靱な体力と精神力を養うことを目的として、毎年実施しているものである。  
今年大会は、九重に県内十五消防本部から二二の個人、団体延べ二五〇名の隊員が参加した。  
開会式では、大会会長の細部兼秋田市消防長の大いさつと、大仙市消防長の山崎堅治消防長から審判長指示があり、続いて出場隊員を代表して、本荘地区消防本部消防士長金野修一隊員が力強い宣誓を行い、競技が開始され、各出場隊員は日頃の訓練の成果をい

- かんなく発揮し優秀な成績を挙げ続けた。
- なお、七月二十五日青森県において開催される東北地区支部消防救助指導会には、この大会の上位入賞者の中から次の隊員が出場することになった。
1. 引揚救助
    1. 秋田市 今村チーム
    2. 秋田市 磯崎チーム
    3. 男鹿地区 沢木チーム
    4. ロープブリッジ渡通
    5. 鹿角広域 佐藤 博幸
    6. 鹿角広域 小笠原 力
    7. 鹿角広域 長岐 隆宏
    8. 横手平鹿 菅原 政人
    9. 鹿角広域 阿部 宏明
    10. ロープ登はん
  2. 大曲市 伊藤 幸一
  3. 大曲市 鈴木代志仁
  4. 大曲市 小松 範史
  5. はしご登はん
    1. 大曲市 長沢 政信
    2. 大曲市 石橋 宏樹
    3. 横手平鹿 戸島 祐輔
    4. 鹿角広域 千葉 隆人
    5. 大曲市 八木 克司
    6. ロープ吊り登はん
      1. 鹿角広域 渡辺 健
      2. 鹿角広域 佐藤 博幸
      3. 大曲市 草野 達也
      4. 鹿角広域 今野チーム
      5. 本荘地区 小室チーム
      6. 本荘地区 菅原チーム
      7. 陸奥突破
      8. 秋田市 安田チーム
      9. 横手平鹿 佐々木チーム

# 大曲市消防団で グランドゴルフ講習会

大曲市消防団は、四月三十日同市四ツ屋小学校グラウンドでグランドゴルフ講習会を開き、消防隊員約一〇〇名が参加した。  
この講習会は、昨年「ふるさと消防団活性化助成事業」によりグランドゴルフ用具八組を購入し、四分団に配置したのを機に開催したもので、本年度中には用具を全分団に配置する予定である。



# 消防学校の三カ月を振り返って 消防職員初任教育第五十期生

鹿角広域行政組合消防本部  
消防士 木村 浩平

四月三日にこの消防学校に入校し、早いもので三カ月が経過しました。入校して間もない頃は、消防の仕事など全くわからず、不安な気持ちでいっぱいでした。それと同時に、「六カ月間がんばるぞ」と意気込んで、毎日の座学や訓練を受けています。  
私は、消防の仕事というのは火を消したり人命の救助をすることだと考えていましたが、その他にも、防災を未然に防ぐための「予防火」等、考えたいことも多くなりました。訓練儀式やポンプ操法、はしご訓練等、他の人の動きを見ていると、簡単にやってみると、細かい動作を間違えたり、逆にそのことに気をとられて、その次の動作に移るのが遅くなったりと、とても大変でした。特にポンプ操法やはしごなどは、他の番員とタイミングがずれたり、ポンプ操法では大きなタイムロスにつながったり、他の人にも注意をしながらの動作となりにすく難しい思いをしました。  
そういった感じで頭を悩ませながらも、学年全員で岩城少年自然の家へ行き、火おこしやウォークラリーを行いました。訓練儀式やポンプ操法、はしご訓練等、他の人の動きを見ていると、簡単にやってみると、細かい動作を間違えたり、逆にそのことに気をとられて、その次の動作に移るのが遅くなったりと、とても大変でした。特にポンプ操法やはしごなどは、他の番員とタイミングがずれたり、ポンプ操法では大きなタイムロスにつながったり、他の人にも注意をしながらの動作となりにすく難しい思いをしました。  
自分だけでなく、他人にも迷惑がかかるようなことはしないよう後半の三カ月前半のように集中して取り組んでいきたいと思っています。  
ちょっとした気のゆるみが事故、ケガにつながるというところは言われますが、自分だけでなく、他人にも迷惑がかかるようなことはしないよう後半の三カ月前半のように集中して取り組んでいきたいと思っています。

## 4月の火災発生件数(全県)

区分	建物	その他	死者	火災被害者
4月	26	39	2	34
本年(1月～4月)計(A)	127	65	12	135
前年(1月～4月)計(B)	114	33	14	110
対前年(1月～4月)比(A/B)	13	32	△2	25

## 5月の火災発生件数(全県)

区分	建物	その他	死者	火災被害者
5月	26	24	2	22
本年(1月～5月)計(A)	153	89	14	157
前年(1月～5月)計(B)	142	53	16	132
対前年(1月～5月)比(A/B)	11	36	△2	25

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンバイホース
トールポンプ	キンパウポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

---

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 千016  
TEL (0185) (52)6361  
(52)6494

# 消防秋田

初代会長 松野 盛吉  
第1部 5円  
定(購読料は年会費を含む)  
秋田市中通4丁目3-23 会館  
秋田県 田 成二部  
会長 電話 0188-32-3791  
電話 0188-34-2706  
FAX 郵便番号 010  
秋田山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 0188-62-6760

### 平成八年度全国統一防火標語

「便利さに 慣れて忘れる  
火のこわさ」

## 決意を新たに使命達成にまい進

### 第四十九回秋田県消防大会

#### 大曲市で開催

秋田県消防協会主催、秋田県・大曲市・仙北郡各町村及び日本消防協会後援の第四十九回秋田県消防大会が七月四日大曲市会館において、秋田県出納長兼内務局長、衆議院議員御法川英文氏など多くの来賓の臨席のもとに県内消防関係者約九〇〇名が参加し、盛大に開催された。

大会は、参加者全員が起立敬礼のち、奥山副会長が第四十九回秋田県消防大会の開会を宣言し、殉職消防職員の御霊に対し黙禱を捧げ、国歌斉唱の後、柴田次郎に開会地である大曲市消防団長古藤修氏、大曲市長高橋司氏から歓迎と激励をこめた挨拶が献じられた。続いて、大会運営の議長職員の御挨拶がなされた。

## 前年度大会における

### 決議事項の処理報告

昨年七月十二日、男鹿市で開催された第四十八回秋田県消防大会において、決議されました九件の議題について、県、市、日本消防協会など関係機関に要望書を出すとともに主旨を説明し、その現実を努力してまいりました。その要望事項への回答要旨は、大要資料にありますが、概要は次のとおりです。

1. 消防防災施設等整備補助金への小型動力ポンプ積載車に係る四輪駆動加算の要望について  
2. 補助対象事業の範囲拡大について  
3. 市町村消防施設等整備事業に対する補助金の引き上げの見直しについて  
4. 消防団員に対する、平成八年度は施設・設備のそれぞれ一団体あたり五〇〇万円に引き上げる方針を打出していることである。従ってこれを下回る整備事業については、「防災まちづくり事業」を積極的に活用してはしむことである。
4. 消防団員の活性化について  
5. 消防団活動への雇用の理解、協力について
6. 消防団員の表彰について

- 4.5 これもその要望の主旨が同じですが、国では、サラリーマン団員の増加に伴う課題への対応として、事業所に協力を要請しながら、便宜を図っていただくようお願いしています。また、制度として確立することは、大変難しい問題です。消防団員のみならずボランティア活動の従事者との関連など、各方面の意見を聞きながら慎重に検討しなければならぬ問題であるというところであります。
7. 無火災表彰の規定改定について  
東北各県の表彰制度等を調査しながら検討して参りましたが、なかなか結論が出ないでいるのが現状であります。引き続き今後とも検討して参りたいと思っております。
8. 消防団員の退職報償金制度の一部改正について  
消防団員退職報償金の三〇年以上の勤続者に対するの新しい規定は、これまで各都道府県、消防協会、消防関係機関から要望があったところであり、

この後、来賓の祝辞を、秋田県出納長兼内務局長、日本消防協会会長徳田正明氏(代理)、衆議院議員御法川英文氏からいただき、引き続き来賓の紹介、祝電の披露が行われた後、全員が秋田県消防の歌「われらあり」を斉唱し、秋田県議会辻久男氏の発声により、声高らかに万歳三喝し、最後に長谷部副会長が大会終了の挨拶を行ない、一時間三十分及び大会の幕を閉じた。



## 提案議題の要望主旨

1. 幼年消防団員育成用物件の継続交付について(鹿角支部提案)  
鹿角市 山本 重信副団長  
これまで、財団法人日本消防協会では、幼児期における防火教育の推進と幼年消防団員の育成の強化に資するため、幼年消防団員育成用物件の交付事業をおこなってまいりましたが、今年度は交付事業の見直しと承っております。
2. 若年消防団員の確保について(大館支部提案)  
大館市 山本 重信副団長  
若年消防団員の確保については、特に若年者の確保に努めるべきです。そのために、若年者にとって魅力ある消防団員になることが必要です。

森田ポンプ  
桜木ス・ソフト吸管  
各種消火器

ラビットポンプ  
消防被服一式  
消防器機一式

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016  
TEL. (0185) (52) 6361  
(52) 6494

消防設備はソフト  
(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 電話63-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

トータル消防ポンプ  
森田自動車ポンプ  
消防被服 総合防災設備センター  
秋田県代 本店

株式会社 高義商会

(営業種目)  
トータル小型動力ポンプ  
森田自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服 各種  
火災報知器 各種  
消火器 各種

〒012-01 本社 秋田県稲川町 電話(0183)(42)2125  
〒019-05 十文字町本町 電話(0182)(42)0032

# 消防団員の服制に関する 検討委員会報告書の概要(3)

消防庁消防課



能代市 安井 昭三副團長  
先の阪神淡路大震災では、  
連日昼夜を分かたず、正に不  
眠不休で懸命に救助、消火活  
動する消防団員の姿が、大き  
く報じられたが、近年、  
消防団員のサラリーマン  
化が進み、自主防災の  
意識を強く持たせよう  
と、消防団員に対する特典  
を設けること、例えば一般  
等の出場については容易に  
利用できるように、また、  
防災に関する各種資格(危  
険物取扱者試験、消防設備  
試験等)の準備講習会受講  
料減免措置を付与するこ  
と、などである。

3. サラリーマン団員の  
各種災害への出場  
しやすき環境づくり  
について(能代市山本  
郡支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

ついて、国、県なりから強力  
なバックアップをいた  
だくよう要望いたします。  
4. 消防団活動に理解  
ある雇用の表彰  
について(能代市山本  
郡支部提案)

1 第一章 消防団員の服制及  
び改正経過  
第二章 消防団員の服制に  
関する実態調査結果  
第三章 消防団員の服制の  
今後の課題

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

1 今後の検討の方向  
消防団員の服制に関する  
実態調査結果によると、現在の  
服制に対する団員の満足  
度は概ね現行制度で満足し  
ている割合が高くなってい  
る。しかし、それと併せて  
見ると、女性団員に  
ついては、場合、女性甲種  
衣については、現行の通知で  
定められた制服の採用の割  
合が低く、また、通知準則に  
ついては、三田体において、満  
足度が低くなっている。ま  
た、作業衣については、見直  
しについての意見が多く見  
られ、時代性、デザイン、防熱  
性等についての評価が低く  
なっている。本委員会におい  
ては、各委員から次のように意見が出  
されている。

1. 事業所へ各種消防団活  
動の協力を義務付け、特  
別の休暇制度を法制化す  
る。  
2. 消防団員採用の事業所  
に対して税制上或いは  
福利厚生面で優遇措置  
を与える。以上のこと  
に

大震災などの大災  
害時に備えた消防団  
施設の整備について  
(大曲市仙北支部提案)

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- 各種消防機
- 消防設備保守
- ホーン
- パイプ
- 各種消火器
- 各種器具
- 各種消防機
- 消防設備保守

常に備えておかなければ  
なりません。我々消防員は、自分  
の地帯を自分たちで守るこ  
とに基本理念による郷土愛  
護の精神に基づき、地域住民  
の安寧と災害からの救済を  
第一の使命と見做し、自己  
の生命の危険を顧みず  
消防活動に従事して  
います。我々消防員は、自分  
の地帯を自分たちで守るこ  
とに基本理念による郷土愛  
護の精神に基づき、地域住民  
の安寧と災害からの救済を  
第一の使命と見做し、自己  
の生命の危険を顧みず  
消防活動に従事して  
います。我々消防員は、自分  
の地帯を自分たちで守るこ  
とに基本理念による郷土愛  
護の精神に基づき、地域住民  
の安寧と災害からの救済を  
第一の使命と見做し、自己  
の生命の危険を顧みず  
消防活動に従事して  
います。



# 平成八年度北海道東北ブロック 防災用車両・資器材交付式

## 本県男鹿市で開催



撤消防ポンプ付軽乗車三台、軽可搬ポンプ六十台と  
なっている。また、交付終了後、ア  
トラクションとして、「な  
まはげ太鼓」の披露があ  
り、続いて行われた消防技  
術大会では、男鹿地区消防  
署当直司令船橋正昭氏の指  
揮のもとに若美町と大瀧村  
の婦人消防協力隊、男鹿市  
・八竜町の消防団、また消  
防本部の救急車、屈折はし  
ご車等が参加し、「男鹿市  
民文化会館湯沸室から出  
火、延焼拡大のおそれが生  
じるとともに逃げおくれた  
二名が救助を求めている」  
という訓練想定で、本番さ  
ながらの活動が実施された。  
なお、本県に交付された  
防災用車両等及び交付先は  
次のとおりである。

財団法人日本消防協会が  
主催する、平成八年度北海  
道・東北ブロック防災用車  
両等資器材交付式が八月二  
十八日(水)午前十時か  
ら、男鹿市船川港男鹿市民  
文化会館を会場に関係者七  
百名が出席して盛大に開催  
された。徳田日本消防協  
会会長のあいさつに続いて  
各車両資器材の受領者が一  
人ひとりに壇上にあがり、記  
念キー等の交付を受けたあ  
と、消防庁長官代理、秋田  
県知事代理、男鹿市長から  
祝辞があり、続いて男鹿市  
斉藤謙蔵消防団長が受領者  
を代表して「本日交付され  
た防災用車両等資器材を有  
効に活用し、更なる決意で  
地域住民の安全を守る所存  
である」と謝辞を述べ、式  
典を終了した。

### 新団長紹介

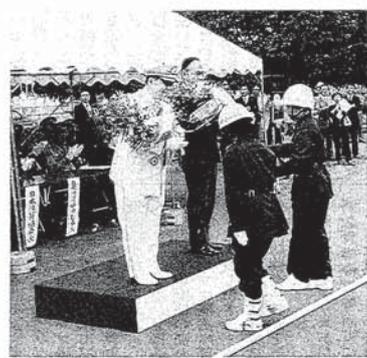
山本郡八森町消防団長  
長 岡 與四郎



(ながおか・よしじろ)  
昭和十一年八月二十日  
生まれ六十才、昭和三十六  
年四月一日入団、班長、副  
分団長、分団長を経て平成  
八年一月四日副団長、本年  
八月十九日付で団長に就  
任した。(宗野 肇)

この交付式は、全国の消  
防機関の消防力を強化拡充  
するため、昭和三十九年か  
ら日本消防協会が毎年行っ  
てきたもので、昭和五十四年か  
らは現在のようにならぬ四会  
場で行われている。今年  
の秋田会場の交付物件  
は、救急車三台、小型動力  
ポンプ機動車八台、C級可  
搬車一台

- 一、救急車一台
- 二、小型動力ポンプ付積載車一台
- 三、C級可搬ポンプ付軽乗車一台
- 四、D一級軽可搬消防ポンプ一台
- 五、C級可搬ポンプ付軽乗車一台
- 六、大内町滝婦人消防隊
- 七、大瀧村婦人消防協力隊
- 八、若美町小窪見婦人消防協力隊
- 九、鹿角市下モ平婦人消防隊
- 十、鷹巣町小森婦人消防隊
- 十一、鷹巣町七日市婦人消防隊
- 十二、五城目町婦人消防隊
- 十三、西仙北町高屋敷婦人消防隊
- 十四、増田町戸波婦人消防隊
- 十五、大内町岩谷町婦人消防隊



### 消防設備点検資格者講習の実施

消防法に基づき、消防設備点検資格者の資格取得講習会が次のとおり実施されます。

講習会場 講習会場 講習会場  
みずほ苑 (秋田市山王4-2-12)  
受講申請期間 9月2日より9月20日  
問い合わせ先 秋田県消防設備保守協会  
TEL 0188-655880

第一種消防設備点検資格者講習10月16日(水)10月18日(金)  
第二種消防設備点検資格者講習10月22日(火)10月24日(木)



### 秋田県総合防災訓練を参観して

秋田県消防学校 初任教育第50期  
秋田市消防本部 斉藤 和博

九月一日の「防災の日」を前に八月三十日に大館市で行われた秋田県総合防災訓練に参観しました。まず最初に見学したのは病院から梯子車を使い救出する訓練でした。大館広域消防本部と鷹巣阿仁広域消防本部の梯子隊員が行ったもので、初めて実際にこのよう

な訓練を見た私は隊員一人一人の迅速で機敏な動作など驚くことばかりでした。この訓練が終了、歩く道沿いに様々な訓練が行われていました。事故車両からの救助訓練、毒物の撤去作業、小学校での避難訓練、消防団が行ったウォーシューターによる街区火

「消防互助年金市県基金」を受け取れない人が急増しています。

この市県基金加入者は、消防互助年金加入者で、掛金払込中に死亡または重度障害状態となった場合、財団法人日本消防協会から支給されるものです。平成六年一月一日から実施して以来、既に一五〇人以上の人に支給されています。しかし、加入している掛金の払込がなされなかったために、支給できなかったケースも目受けられます。この

掛金払込がされない理由の大半が、口座に引落としの金額がない「資金不足」との処理結果が、消防互助年金事業団に報告されています。これは、せっかくの制度が生かされていません。

掛金の払込は、その都度「消防互助年金制度掛金口座振替通知書」で加入者にご連絡しています。確実に、掛金が口座から引落とされるように心掛けてください。

#### 7月の火災発生件数(全県)

区分	建物	その他	死者	り世	災帯
7月	18	11	2	15	
本年累計(7月)	192	117	18	188	
前年累計(7月)比	179	74	19	170	
前年(1-7月)対比	13	43	△1	18	

#### 6月の火災発生件数(全県)

区分	建物	その他	死者	り世	災帯
6月	20	17	2	15	
本年累計(6月)	174	106	16	173	
前年累計(6月)	166	65	18	154	
前年(1-6月)対比	8	41	△2	19	

### ホテル あきた

秋田市中通4丁目3の23  
(秋田県消防会館内)電話32局4111

▲一般のお客様  
1人室(洗面所、トイレ付) ￥3,300  
2人室(バス、トイレ付) ￥6,600

▲会員の方  
1人室(洗面所、トイレ付) ￥3,000  
2人室(バス、トイレ付) ￥6,000

### 株式会社 高義商会

トータル消防ポンプ 総合防災設備センター  
森田自動車ポンプ 全店  
消防被服 秋田県代

(営業種目) トータル小型動力ポンプ 森田自動車ポンプ 消防被服 全各種 消防被服 全各種 消防被服 全各種

〒012-01 本社 秋田県船川町 TEL(0183)(42)2125  
〒019-05 十文字町木町 TEL(0182)(42)0032

### 寺田染工場

消防 半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

横手市清川町 ☎32-0416









# 消防秋田

初代会長 松野 隆吉 5円  
定価 1部 5円  
(購読料は年会費を含む)  
秋田市中通4丁目3-23  
秋田県消防協会 本部  
会長 柴田 隆二  
電話 0188-32-3791  
FAX 0188-34-2706  
郵便番号 010  
印刷 秋田山王丁7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 0186-62-6750

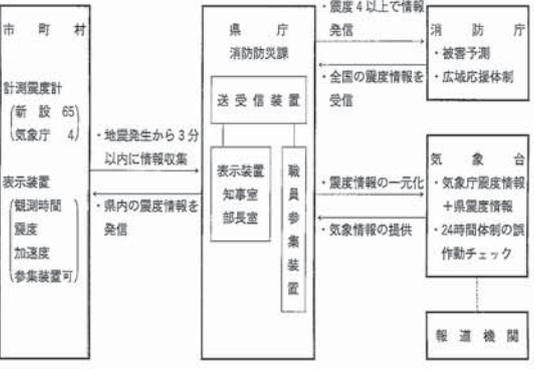
## 県の震度情報ネットワークシステム 運用開始間近

秋田県が、国の補助事業で実施していた震度情報ネットワーク事業が、各市町村の震度計設置工事も完了し、年末に行なわれる完成検査の終了を待って運用開始の運びとなった。

この事業は、大規模地震による被災情報の収集が遅れた昨年1月の阪神淡路大震災を教訓に、県内市町村に震度計を設置し、地震発生時の各地の震度情報を即座に把握し、早期の応急救助や広域応援体制の確立を図るために進めていたものである。

秋田県が、国の補助事業で実施していた震度情報ネットワーク事業が、各市町村の震度計設置工事も完了し、年末に行なわれる完成検査の終了を待って運用開始の運びとなった。

### システム構成



## 雪害対策と家庭の心得について 秋田県消防防災課

年の瀬も押し迫り、一日と寒さが厳しさを増し、これからいよいよ本格的な降雪期を迎えます。

秋田地方気象台の長期予報によりますと、「この冬は時々、冬型の気圧配置が強まり、曇りや雪又は雨の日が多い見込みで、気温、降雪量とも平年並」と発表されています。

県においても降雪期に備え、十二月二十二日に「秋田県雪害対策部会」を開催し、関係機関、団体と協議し、雪害防止や道路、鉄道等の交通輸送の安全確保及びライフラインの保全を図ることにしております。

その一つは、屋根や梯子から転落する事故が全体の約九割を占めているという点にあります。こうした事故は、

雪閉りをしたため避難口がなくなり、結局逃げ場を失って死んだという多くの事例があります。雪閉いの前にも一度、避難口は確保されているかどうか確認してみてください。四つ目は、道路や通路に面した屋根の雪が歩行者に

解とご協力を得たいと思っております。

はじめに、除排雪に伴う事故の状況を見ますと、本年一月から三月までの間に三十一件発生し、転落事故を含めて三人の方が亡くなられ、二十八の方が重傷を負っています。こう

◇雪下ろしの梯子は確実に固定し、命綱と滑り止めを必ず付けること。

◇雪下ろしのときは、家族や隣家に知らせずに行うこと。

◇二つ目は、助け合いの精神です。

高齡化社会になればなるほど、近所同士や地域ぐるみの見回りや応援除雪が必要になってくることをもう一度、ご家庭や地域ぐるみで考えてみてはいかがでしょうか。

三つ目は、避難口の確保です。

雪下ろしや自然に落ちた雪で煙突が外れたり、ガス器具が破損することがよくあります。時々煙突やガス器具に異常がないか、安全を確認することが大切です。

以上、雪害対策と家庭の心得について申し上げましたが、気象台や関係機関の発表する各種情報に注意しながら、これから訪れる厳しい寒期を安全に乗り切りましょう。

平成八年度全国統一防火標語  
「便利さに 慣れて忘れる  
火のこわさ」

## 消防団員指導員研修 県消防学校で開催

県消防協会では十月二十八日から三十日までの三日間、消防団幹部としての必要な知識と技術を修得させるため、消防団員幹部を対象に「消防団員指導員研修」を秋田県消防学校において、同校の協力を得て実施した。

この研修は、地域防災の中核としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み、消防団員の防災技術の向上を図るため、消防団員の教育訓練の指導にあたる者らを研修することを目的として行われたもので、十名の方々が終始熱心に研修を受け、有意義に修了した。

修了者には、日本消防協会長の修了証及び指導員章が授与された。

今回の受講者は、次の方々でありました。

小坂町消防団 班長 澤口 紀夫  
大館市消防団 分団長 島沢 工  
増田町消防団 分団長 高橋 耕治

男鹿市消防団 分団長 近藤 公次  
男鹿市消防団 分団長 秋山 賢司  
男鹿市消防団 部長 加藤 祥一  
五城目町消防団 分団長 佐々木貞作  
五城目町消防団 分団長 小熊 珍市  
角館町消防団 班長 黒坂 源助  
中仙町消防団 班長 黒澤 正義  
増田町消防団 分団長 高橋 耕治

## 秋田県婦人防火研修会 全県から二百五十人が参加

秋田県婦人防火研修会が、去る十一月二十日、二十一日の二日間、秋田県消防学校で開催され、各市町村の婦人防火クラブ員が参加し、関係者約二百五十人が参加した。

研修会には、県内を二ブロックに分けて二日間実施したもので、まず、午前九時から防災センターで自主研修にはいり、地震、煙、初期消火等の体験コーナーで楽しみながら体験学習。また、パネル・ビデオで火災等の災害の恐ろしさや火害の発生を未然防止するための方法などを勉強したのち、はしご車、化学車、救助工作車等の特殊車両について学校教員の説明を受けながら施設見学をした。

研修会は、午前十一時十五分開会、品田登生生活環境部次長から「火災予防の意義は県民ひとりひとりに浸透させていくことが重要であり、積極的な活動をお願いしたい」、また、斎藤栄子婦人防火クラブ連絡協議会会長から「日頃家庭において火の責任を担う機会が多い、この研修会は非常に大きい予防の普及のために、皆さんとともに取り組んでほしい」とのあいさつがあった。

その後、秋田県電気工事工業組合秋田支部長佐藤秀芳氏が「阪神・淡路大震災から一年経って」と題して講演。現地調査の状況などを交えながら、電気が火災の原因となる現象や災害に対する日頃の備えについて述べられ、「日頃の心がまえから、防災は始まる」と力説した。



秋田県婦人防火研修会



消防施設工事 秋田県知事許可(股-50)4370号  
指名競争入札参加資格 秋田県A級(第8号)  
秋田県消防設備保守協会会員

消防設備はソフト  
(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
**猿田興業株式会社**  
秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

総合防災設備センター  
**株式会社 高義商会**

ト一ハツ小型動力ポンプ  
森田自動車ポンプ  
消防服 消防靴 消防器具  
防火服 防火靴 防火器具

(営業種目)

ト一ハツ小型動力ポンプ  
森田自動車ポンプ  
消防服 消防靴 消防器具  
防火服 防火靴 防火器具

〒012-01 本社 秋田県船川町 ☎(0183)(42)2125  
〒019-05 十文字町本町 ☎(0182)(42)0032

新団長紹介  
南秋田郡若美町消防団長  
中田 清文

(なきた・きよみ)  
昭和二年十一月十九日生まれ六十九才、昭和十七年七月一日入団、部長、分団長を経て平成二年七月二十八日付で団長に就任した。(農業)

10月の火災発生件数(全県)

区分	建物	その他	死者	り災世帯
10月	24	9	0	19
本年累計(A)	258	156	21	236
前年累計(B)	255	94	25	236
前年対比(B/A)	3	62	△4	0





# 新年のご挨拶

陸上自衛隊第二十一普通科連隊長兼秋田駐屯地司令

一等陸佐 伊藤 象男



平成九年の輝かしい新春を迎えられ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防関係者の皆様には、日頃からの御活躍と御苦労に深く敬意を表します。また、平素から自衛隊に対する御理解と御協力に、心からお礼申し上げます。さて、近年県内において、

は、自衛隊が活動する大災害が発生していないことは喜ばしい限りであり、県をはじめ各市町村関係者の防災に関する深い認識と日頃の努力の成果と県民の皆様方の防災に対する意識の向上の表れと確信いたしております。

また、日本列島の各地で地震が発生しております。一昨年一月の兵庫県南部地震により未曾有の大震災は記憶に新しいところで

意思の疎通を図り、自衛隊の大規模災害に対する対応能力を展示し理解を深めるとともに、災害が発生した場合、直ちに救助活動が可能となるように、師団・駐屯地においても、各種の訓練を通じて問題点の把握に努め準備を周到にして万全を期す努力をしております。

# 年頭のご挨拶

秋田県指定水防管理団体連合協議会会長

大館市長 小畑 元



明けましておめでとうございます。

全県の防災関係の皆様は、新年の御慶びを申し上げます。

されることが、この一年が災害のない穏やかで静かな年であるように、という思いではなからうかと存じます。この思いは、本協議会においても、同様でありまして、できるならば一年間水防活動が行われずに済んでほしいと願わずにはおられません。昨年を振り返ってみますと、全国的に地震や洪水、

また、日本列島の各地で地震が発生しております。一昨年一月の兵庫県南部地震により未曾有の大震災は記憶に新しいところで

# 年頭のご挨拶

秋田県警察本部長

平口 洋



明けましておめでとうございます。

平成九年の年頭に当たり、消防関係者の皆様は、日頃からの御活躍と御苦労に深く敬意を表します。また、平素から自衛隊に対する御理解と御協力に、心からお礼申し上げます。さて、近年県内において、

国民の安全を守るため、国民の身を守るため、深く敬意を表すとともに、県警察に寄せられました温かいご支援に、心からお礼を申し上げます。

また、日本列島の各地で地震が発生しております。一昨年一月の兵庫県南部地震により未曾有の大震災は記憶に新しいところで

対処するため、一昨年の阪神・淡路大震災を契機として消防では緊急消防援助隊を、警察においては広域緊急救助隊を設置したところであり、県警察では平素から装備資機材を活用した高度な救急訓練を行なう、常時即応出来る体制作りを努めているところで

# 年頭のご挨拶

秋田県消防長会 会長 細部 勲



明けましておめでとうございます。

平成九年の年頭に当たり、消防関係者の皆様は、日頃からの御活躍と御苦労に深く敬意を表します。また、平素から自衛隊に対する御理解と御協力に、心からお礼申し上げます。さて、近年県内において、

また、日本列島の各地で地震が発生しております。一昨年一月の兵庫県南部地震により未曾有の大震災は記憶に新しいところで

また、日本列島の各地で地震が発生しております。一昨年一月の兵庫県南部地震により未曾有の大震災は記憶に新しいところで

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トールツボ各種
- 各種消防設備
- ポンプ器具
- ボイラ各種
- パイプ各種
- ホシボ
- スポン
- 一火器

とことであり、消防関係者の皆様には、今後とも災害に強い安全な町づくりのため御尽力されますよう御期待申し上げます。

り、昨年に比べて県内の消防職員三名が救急救命士の資格を取得しております。また、消防職員の職場環境の改善についてであり、昨年は消防職員委員会の設置の年でありました。職場環境や勤務条件の改善を一層強力に推進するとともに、消防職員の装備などについて専門的な意見を集約するなど、この制度を適正に運用し、消防職員が丸ごと、防災体制の再構築や消防の発展のために切磋琢磨し、いかなければならないものと考えております。

さらに製造物責任法の施行に伴い消防機関としての対応を考えますと、消防機関が行う火災原因調査の重要性が増してきています。火災原因の調査書類の開示に

# 新年ごあいさつ

消防大学校長  
広瀬 経之



平成九年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。  
消防関係者の皆様は、日頃、それぞれの地域において、住民の生命、身体、財産を火災やその他の災害から守るため献身的な活躍をされていることに対し、心より敬意を表する次第であります。

近年の我が国社会経済の急激な変化に伴い、消防をめぐる環境も大きく変わりつつあり、特に阪神・淡路大震災を契機として消防に寄せられる国民の期待はこれまでになく大きなものとなっております。  
この時に当たり、広い視野と高い知識・技術を備えた消防部の育成は一層重要な課題となっております。  
消防大学校においては、このような認識のもとに、消防職員員の教育訓練に励んでいくところであります。今年もその一層の充実を目指して努力を重ねてまいります。

今後とも、消防大学校に対しご支援・ご協力を賜わりますようお願いいたします。ごとともに、皆様の一層のご活躍とご多幸を祈念し、年頭のごあいさついたします。

# 年頭のごあいさつ

秋田県市長会会長  
石川 錬治郎



全県消防関係者の皆様に謹んでごあいさつを申し上げます。  
また、県民生活を脅かす各種災害から、尊い生命と貴重な財産を守るため、日夜、その使命達成に全力を尽くされておりますこと

私たちが取り巻く地域社会は、大きく様変わりしております。住民の連帯感の希薄化、若年層の減少など、新たな課題を投げかけております。幸いにして、関係各位におかれましては、消防・救急資機材の近代化や広域相互援助体の確立など、新たな消防需要に対応した体制整備が着実に進められておりますが、防災活動の重要性が改めて認識されております。今日、これまで築きあげられた消防に対する住民

# 年頭に当たって

秋田県町村会会長  
前川 盛太郎



消防関係の方々をはじめ、地域住民の皆様には、日頃から町民の消防行政に対し、深いご理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
また、消防業務の第一線で昼夜を分かたず献身的に職務を遂行され、ご活躍の深い信頼と期待に、なお一層応じていくことが、重要な課題となっております。私どもといたしましては、住民の安全を第一に地域住民への防災意識の啓蒙や自主防災組織の育成等、住民による防災体制づくりを推進するとともに、有事に備え、ライフラインの整備や生活環境整備・防災用資器材の確保、衛星通信システムの構築など、これらの対策整備に努力して参りたいと考えております。

平成九年の新しい年を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。  
日ごろ、本県の生活環境行政の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

大きく変わりつつある社会情勢に的確に対応し、県民一人ひとりが安全・豊かさとゆとりを日々の生活の中で実感できる社会の実現に向けて、諸施策を推進しているところであります。

化は、交通災害の増加が憂慮され、安全確保に向けた対策が早急に求められているところであります。  
各町村におきましては、防火や交通安全をはじめ、住民の防災意識の啓蒙、普及に努めるとともに、災害時に必要な情報提供、避難体制の周知徹底など、人命の安全確保を第一とする危機管理体制を確立しているところであります。  
幸いにも、関係各位のご努力により、消防施設や消防機器の近代化、救急体制の整備、災害発生時の広域的協力、連携体制などが逐次整備、強化されておりますが、今後進展する高齢化、過疎化に対応したきめ細かな防災、救急体制を整備して参らなければならぬと考えています。  
どうか関係各位におかれましては、消防使命達成に益々ご精励賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様にとりまして良い年でありますようお願い申し上げます。

# 新しい年を迎えて

秋田県生活環境部  
部長 佐藤 正夫



が、今年はその施策を重点に取り組んでまいりたいと存じます。  
はじめに、労働時間の短縮や長寿化に伴い、増加する時間を有効に活用することにより県民が趣味や創作活動、ボランティア活動などの多様な余暇活動を実施し、充実した生活ができるよう支援するため、平成十一年のオープンを目指し「ゆとり生活創造センター」(仮称)の整備事業を進めてまいります。  
また、県民が安心して生活できる災害に強い県土づくりを目指し、災害発生時における情報の伝達や収集を一層迅速かつ確実に行うため、新たに衛星通信システムを導入し、災害デー

タ、気象、河川などの多様な防災情報を一元化し、総合的な管理運用を図るための総合防災情報システム整備事業に取り組みします。  
次に、質の高い快適な環境が求められている現在、総合的な環境施策を推進するため、環境監視、環境情報の提供及び調査分析に関するシステムを整備するため、環境監視情報センター(仮称)の設置を検討いたします。  
また、本県のすぐれた自然を代表する世界遺産白神山周辺地域の適切な保全と活用を図るための計画を策定いたします。  
私たちが身の回りに、依然として交通事故、ゴミ問題等解決しなければなら

11月の火災発生件数(全県)

区分	建物	その他	死者	災害者
11月	21	2	2	18
本年累計(A)	279	158	21	254
前年累計(B)	282	100	24	262
対前年比(A/B)	△ 3	58	△ 3	△ 8

森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ハウス・ソフト吸着管 消防被服一式  
各種消火器 消防器機一式

株式会社 協立  
株式会社 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

消防設備はソフト  
(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10-9 ☎63-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

トーハツ消防ポンプ 総合防災設備センター  
トーハツ自動車ポンプ 全理  
森田自動車ポンプ 代理  
消防被服 消防器 各種

株式会社 高義商会

(営業種目)  
トーハツ小型動力ポンプ 各種  
森田自動車ポンプ 各種  
消防被服 各種  
消防器 各種  
消防報知器 各種

〒012-01 本社 秋田県稲川町 ☎(0183) (42) 2125  
〒019-05 十文字町本町 ☎(0182) (42) 0032

# 新年のご挨拶

秋田県消防協会

副会長 奥山利八



新年あけましておめでと  
うございます。  
平成九年の新春を皆様と

共にお慶び申し上げます。衷心よりお慶び申し上げます。昨年一昨年の阪神淡路大震災による大きな傷跡が未だ癒されぬ中、今年こそ平安無事を願望して、二月北海道古平町豊浜トンネルでの落盤事故、十二月六日長野県小谷村で

土石流による災害事故等、人災も含まれて全く我々人間の想像をはるかに超えた破壊力であり、貴い多くの人命が失われました。大なる脅威に畏敬の念をいだかざるを得ません。特に小谷村での土石流災害に県民の方々の犠牲に遭われ、衷心よりお悔やみ申し上げる

次第です。県内火災等の災害は特に大きな事故もなく日頃の消防団の活動の賜であり、また、全国消防団法大会で小型ポンプ操法で優勝した仙南消防団は消防団のみでなく、秋田県での近年にない快挙であり、秋田県史に輝く消防団の活躍でありました。これからの活躍も期待しています。今一番心配されているのは火災の際に必ずと言う焼死者が出ることです。特に災害弱者である高齢者が犠牲になる場合が非常に多くその都度心が痛みます。良

い救済方法がないかと思案していますが、やはり最も地域に密着している消防団により高齢者等の存在を明確に把握して、一旦緊急あれば迅速に行動する事により、最悪な事態は防げるのではないかと考えています。数年前から予想されています秋田県神の地震空白地帯も不気味な静けさを感じているところ。今後共県内消防団一丸になり、この見えざる災害に対処することを肝に銘じて新年のご挨拶といたします。

# 新しい年を迎えて

秋田県消防協会

副会長 蒔苗進



平成九年の新春を迎え、全県の消防関係者の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防関係者各位におかれましては、火災をはじめ各種災害から地域住民の生命及び財産を守るため、日夜献身的にご活躍しておられますことに対し、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。さて、顧みますと昨年の県内における災害状況は、八月十一日、宮城県東三陸源とした最大震度五の地震が発生し、日本海中部地震以来の地震被害を受けまし

た。しかし、幸いにも人命被害が少なく、以後の活動状況も概して、更に災害復旧され、関係者の方々のご努力に感謝を申し上げます。また、昨年一月に発生した「阪神・淡路大震災」は戦後最大級の被害をもたらした。国民の防災の重要性を再認識させました。

一方、国内に転じますと、二月一日、北海道古平町の豊浜トンネルの落盤事故を始め、福岡空港での航空機事故による炎上、師走に入り長野県小谷村の土石流災害復旧工事現場での土石流災害等、各種災害が相次いで発生し、残念なが多くで、人命が奪われました。このように社会経済の變化に伴い、災害の態様も複雑多様化、かつ大規模化する中で、消防の使命はま

ずますます重大なものとなってきており、県民の消防に寄せる期待は一層増大しております。消防関係者が一致団結し、消防人として誇りと自覚を持って住民の負担に代わって活動しなければならぬと考えているところであります。いまでもなく、消防団は地域防災の中核として重要な役割を果たしており、消防活動のみならず、予防活動、あるいはまた、多数の消防団員を必要とする大規模災害時の活動等に大きな期待がかけられております。

その一方で、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、団員の高齢化等の問題が生じてきており、消防団の活性化を推進することが喫緊の課題となっております。当協会としておきますは、青年層の消防団活動への参加促進、婦人層の消防団活動への参加促進、消防団の施設・装備の強化、地域のコミュニティ活動への

# 年頭にあって

秋田県消防協会

副会長 長谷部周治



平成九年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者のみなさまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、北海道豊浜トンネルの崩落事故をはじめ、福岡空港でのガルーダ・インドネシア航空機墜落事故、広島市の高層住宅火災、さらには、県人を含む多数の方々が被害にまいりました長野県小谷村の土石流災害と大きな災害や事故が後を絶たず各地で発生しております。このように、時と場所を選ばず発生する各種の災害

や事故に適切に対応していただくためには、消防の各段にわたって、新しい視点で、かつ、先行的に対処すること、が求められ、多面的な消防防災体制を推進する必要があります。私ども、消防団はこのような現状をあらためて認識し、地域住民の期待と信頼に応えるために、そして、地域に最も密着した防災機関として、あらゆる災害に対処し、損害の軽減、防止に努め、地域住民の安全確保を図っていかねばなりません。このためには、関係機関と連絡を密にして、消防施設、資器材の整備拡充はもとより、知識、技術の向上と消防活動の強化を図る

とともに、住民の防災意識の高揚と自主防災の育成に努め、臨機応変に機能が発揮される有事即応の体制づくりに努力を重ねる必要があります。また、消防団の活性化問題となつていますが、団員の処遇の向上や健康管理、安全管理など入りやすすいとして居心地よく、そして、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして今年も、引き続きこれら

消防団の当面する課題に積極的に対処するとともに、増大する消防需要に対応し、安全で災害に強いまちづくりをめざし、郷土愛護の精神に基づき地域に根ざした消防団としての体制づくりに取り組んでまいります。どうか、皆様の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。寺田染工場

# 年頭のごあいさつ

秋田県消防学校

学校長 角田清喜



平成九年の新春を全県消防関係者の皆様とともに迎えることができました。謹

んでお慶び申し上げます。年頭にあたり、消防関係者の皆様の日頃のご活躍とご苦労に対し敬意と感謝を申し上げます。さて、消防現場業務（秋田市消防本部）から消防教育現場に身を転じ、素人同然の私が昨年四月、小山田前校長の後任として着任いたしました。この間、多くの皆様から叱咤激励を頂戴し、それに勇気づけられて

学校運営に渾身の力を注いでまいりました。これからは「教育」の重要性を強く感じているところであります。本校では、初任教育はもとより、消防職（団）員の各教育課程の内容充実に向けて鋭意努力してまいりました。こうした情勢に的確に対処していくためには、技術革新の成果を積極的に取り入れ、社会環境の変化に即応した消防行政の一層の充実強化が必

要と考えますが、結局は人が根幹であり、人づくり、いわゆる「教育」の重要性を強く感じているところであります。本校では、初任教育はもとより、消防職（団）員の各教育課程の内容充実に向けて鋭意努力してまいりました。こうした情勢に的確に対処していくためには、技術革新の成果を積極的に取り入れ、社会環境の変化に即応した消防行政の一層の充実強化が必

要と考えますが、結局は人が根幹であり、人づくり、いわゆる「教育」の重要性を強く感じているところであります。本校では、初任教育はもとより、消防職（団）員の各教育課程の内容充実に向けて鋭意努力してまいりました。こうした情勢に的確に対処していくためには、技術革新の成果を積極的に取り入れ、社会環境の変化に即応した消防行政の一層の充実強化が必

要と考えますが、結局は人が根幹であり、人づくり、いわゆる「教育」の重要性を強く感じているところであります。本校では、初任教育はもとより、消防職（団）員の各教育課程の内容充実に向けて鋭意努力してまいりました。こうした情勢に的確に対処していくためには、技術革新の成果を積極的に取り入れ、社会環境の変化に即応した消防行政の一層の充実強化が必

# 消防秋田

初代会長 松野 盛吉  
定価 1部 5円  
(購読料は年会費に含む)  
秋田市中通4丁目3-23  
秋田県消防協会  
会長 柴田 康一郎  
電話 0188-52-3791  
FAX 0188-34-2706  
郵便番号 010  
秋田山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 0188-82-8780

## 防災の誓い 高らかに

### 県内各地で消防出初式



能代市消防出初式  
能代市消防出初式  
各会場では、それぞれの地域住民が見守る中で、消防隊員とポンプ車のパレード、くす玉割り、もちつき、消防太鼓演奏などさまざまな演技が繰り広



秋田市長の観閲



ミニマトイを贈る秋田市消防出初式

新春を飾る恒例の消防出初式が、一月四日の鹿角市など十市町村をトップし、九月までの間県内各市町村において消防隊員や消防関係者が多数参加して行われた。

秋田市では、六日午前十時秋田市消防本部前約千人が整列し、はしご車、救助工作車、ポンプ車等の消防車両が勢ぞろいして、石川練部市長の観閲をうけた。陸上自衛隊秋田駐屯地音楽隊の演奏する行進曲ののり、けやき通りを分列行進、続いてアトラクションとして、消防団の移動が披露された。

秋田市では、六日午前十時秋田市消防本部前約千人が整列し、はしご車、救助工作車、ポンプ車等の消防車両が勢ぞろいして、石川練部市長の観閲をうけた。陸上自衛隊秋田駐屯地音楽隊の演奏する行進曲ののり、けやき通りを分列行進、続いてアトラクションとして、消防団の移動が披露された。

秋田市では、六日午前十時秋田市消防本部前約千人が整列し、はしご車、救助工作車、ポンプ車等の消防車両が勢ぞろいして、石川練部市長の観閲をうけた。陸上自衛隊秋田駐屯地音楽隊の演奏する行進曲ののり、けやき通りを分列行進、続いてアトラクションとして、消防団の移動が披露された。

秋田市では、六日午前十時秋田市消防本部前約千人が整列し、はしご車、救助工作車、ポンプ車等の消防車両が勢ぞろいして、石川練部市長の観閲をうけた。陸上自衛隊秋田駐屯地音楽隊の演奏する行進曲ののり、けやき通りを分列行進、続いてアトラクションとして、消防団の移動が披露された。

秋田市では、六日午前十時秋田市消防本部前約千人が整列し、はしご車、救助工作車、ポンプ車等の消防車両が勢ぞろいして、石川練部市長の観閲をうけた。陸上自衛隊秋田駐屯地音楽隊の演奏する行進曲ののり、けやき通りを分列行進、続いてアトラクションとして、消防団の移動が披露された。

秋田市では、六日午前十時秋田市消防本部前約千人が整列し、はしご車、救助工作車、ポンプ車等の消防車両が勢ぞろいして、石川練部市長の観閲をうけた。陸上自衛隊秋田駐屯地音楽隊の演奏する行進曲ののり、けやき通りを分列行進、続いてアトラクションとして、消防団の移動が披露された。

## 「冬の火災予防」について

### 秋田県消防防災課

冬に起こる住宅火災の大きな原因のひとつとして、石油ストーブなどの暖房器具の火災がみられます。昨年の火災状況をみると、暖房器具の使用誤りや消し忘れ、燃えやすいものへの転倒、洗濯物などへの着火等による火災が発生するなど、ちよつと注意すれば防げるものが数多くあります。

このような、暖房器具による火災を防ぐために、次の点について特に注意していただきたいと思えます。一つ目は、給油必ず火を消してから行い、万一こぼれた場合はよくふき取りましょう。また、カートリッジタンクへの給油の際はキャップをきっちり閉めたが確認してください。

二つ目として、ストーブの上には洗濯物を干したり、燃えやすいものを近づけないよう注意しましょう。三つ目として、火を使用している場所から離れるときは、必ず消火を確認してからにしましょう。また、就寝時と同様です。少しぐらいいなら大丈夫なと思わないで、火の取り扱いは細心の注意を払

い、しっかりと心構えをもっておくことが重要です。次に、最近では家庭用の粉末消火器をはじめ、火災報知器、ガス漏れ警報器、安全装置の働く調理器具や風呂釜など家庭用防災機器が普及しています。一備えあれば安心といわれ、三つ目として、家庭の防火対策について、今一度考えてみていただきたいと思

います。平成八年度の防火標語は「便利さに慣れて忘れる火のこわさ」。雪の壁により避難口が狭い、人命にかかわるような危険性が非常に高くなります。万一の場合でも、被害を

最小限に抑え止めるため、避難口は二つ以上確保して、いったん避難したら家財道具などを持ち出すことは絶対に行わないようにしましょう。お年寄りや乳幼児など一人では避難が難しい人達のための避難協力体制についても、みんなで話し合い考えていただきたいと思

います。平成八年度の防火標語は「便利さに慣れて忘れる火のこわさ」。雪の壁により避難口が狭い、人命にかかわるような危険性が非常に高くなります。万一の場合でも、被害を

最小限に抑え止めるため、避難口は二つ以上確保して、いったん避難したら家財道具などを持ち出すことは絶対に行わないようにしましょう。お年寄りや乳幼児など一人では避難が難しい人達のための避難協力体制についても、みんなで話し合い考えていただきたいと思

います。平成八年度の防火標語は「便利さに慣れて忘れる火のこわさ」。雪の壁により避難口が狭い、人命にかかわるような危険性が非常に高くなります。万一の場合でも、被害を

最小限に抑え止めるため、避難口は二つ以上確保して、いったん避難したら家財道具などを持ち出すことは絶対に行わないようにしましょう。お年寄りや乳幼児など一人では避難が難しい人達のための避難協力体制についても、みんなで話し合い考えていただきたいと思

平成八年度全国統一防火標語  
「便利さに慣れて忘れる火のこわさ」

消防庁では、昨年十二月平成八年度版の消防白書を発した。この白書は、地震・火災の実態や消防行政の現状と課題等について解説したものでありますがその中から、今後の消防行政の方向についての記事を紹介する。

消防行政の方向  
我が国は、これまで幾多の災害を経験して、被害を最小限に抑え止めるため、避難口は二つ以上確保して、いったん避難したら家財道具などを持ち出すことは絶対に行わないようにしましょう。お年寄りや乳幼児など一人では避難が難しい人達のための避難協力体制についても、みんなで話し合い考えていただきたいと思

平成八年度版  
消防白書の概要(1)  
今後の消防行政の方向

大規模災害対策として、このように個々の防災関係機関の体制強化を図ることも、市町村あるいは都道府県の区域を越えた消防力等の広域的な応援体制を確立すること、迅速かつ適切な対応が可能になること、平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

消防以外の防災対策についても、備蓄物資や災害医療体制等も含めた地方公共団体間の広域応援協定の締結を促進するとともに、地方公共団体の広域応援に関する対応力把握に努めるなど、消防の効果的な運用体制の整備を図っていくことが重要である。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版  
消防白書の概要(1)  
今後の消防行政の方向

大規模災害対策として、このように個々の防災関係機関の体制強化を図ることも、市町村あるいは都道府県の区域を越えた消防力等の広域的な応援体制を確立すること、迅速かつ適切な対応が可能になること、平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版  
消防白書の概要(1)  
今後の消防行政の方向

大規模災害対策として、このように個々の防災関係機関の体制強化を図ることも、市町村あるいは都道府県の区域を越えた消防力等の広域的な応援体制を確立すること、迅速かつ適切な対応が可能になること、平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

平成八年度版の消防白書に改正し、消防の応援に関する緊急時の特例等に対する全国の消防機関相互による応援体制として、平成七年度六月に緊急消防援助隊が発足したところであるが、このような応援体制を迅速かつ的確に運用するために、緊急消防援助隊の活動に必要な車両や資機材の計画的な整備を推進するとともに、緊急消防援助隊の合同訓練等、各種訓練の実施を推進していく必要がある。また、災害事象の複雑多様化に伴い、化学災害に対する消防の部隊等についても、広域的な運用を図っていく必要がある。

消防設備はソフト(保守点検)が決めて!  
消防設備の点検設置のご相談は  
猿田興業株式会社  
秋田山王六丁目10-9 電話63-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

株式会社 協立 能代消防センター  
森田 ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種 消火器 消防器機一式  
能代市栄町12の3 〒016  
TEL (0185)(52)6361  
(52)6494



新回長紹介

由利郡大町消防団長 長谷部 久 (はせべ ひさぐ) 昭和五年(一九三〇)七月生まれ...

消防団長等幹部海外消防事情視察に参加して(2)

秋田県消防協会

井上 和吉

必要であり、公園や学校等を防災拠点として整備する...

でも、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、その整備が急がれるところである...

消防の任務は日本とほぼ同じであるが、組織の面で大きく異なる...

「空気が乾燥していますので、火の取り扱いは十分ご注意ください。」

秋田県消防協会大館北秋田支部 防火作文コンクール最優秀賞

火の大切さと恐さ

大館市立矢立中学校三年 小林 優子

「空気が乾燥していますので、火の取り扱いは十分ご注意ください。」

「空気が乾燥していますので、火の取り扱いは十分ご注意ください。」

株式会社タカギ 総合防災設備センター 株式会社 高義商会

# 消防秋田

題名 初代会長 松野 盛吉  
 定価 1部 5円  
 (送料は年会費を含む)  
 秋田市中通4丁目3-23  
 秋田県消防協会  
 会費 0188-32-3791  
 PAX 0188-34-2706  
 郵便番号 010  
 印刷 秋田市山王町5丁目5-29  
 株式会社 松原印刷社  
 電話 0188-62-8780

平成八年度全国統一防火標語  
**「便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ」**

火災の空しさを訴える作品です。色彩も効果的に使っています。  
 二席 二年 佐藤 香里  
 今まであまり取り上げられていない消防士をテーマにした観点で、見る人に強い印象を与えてくれるにしています。色彩も効果的に使っています。  
 二席 二年 渡部 祥子  
 火や炎を描かず、燃え残った人形で火災の恐ろしさを現した女の生徒らしい、やさしい印象を与えてくれる作品です。レタリングやコピーもよく出ています。  
 三席 一年 山口 晃奈  
 寒色の周囲に炎の赤が効果的に強調されています。無理なく一つ一つの丁寧な働きで、整理された作品です。  
 二年 佐藤 恵子  
 大小の炎を対照的に現して効果を出しています。作業も丁寧でポスターカラーの効果も充分發揮しています。  
 二年 高橋 智子  
 繰り返しの炎、装飾的でやさしさが感じられます。

が、コピーを読むと訴える力がかえって強く感じられます。

◎佳 作

小学生の部

千畑町立千屋小学校  
 二年 高橋 理沙  
 増田町立亀田小学校  
 三年 佐藤 健太  
 増田町立亀田小学校  
 三年 長 岩 彩  
 西仙北町立刈野小学校  
 四年 伊藤 佳彦  
 鹿角市立大広小学校  
 四年 米 沢 望  
 大雄村立阿久小学校  
 五年 佐々木 英展  
 二ツ井町立切石小学校  
 六年 佐藤 旭謙  
 大雄村立田村小学校  
 六年 佐々木 由銀佳  
 増田町立亀田小学校  
 六年 饒谷 大介  
 鹿角市立中津小学校  
 六年 津村 育美

消防団幹部 特別研修  
 島海町佐藤団長が受講  
 日本消防協会では、一月二十七日から三十一日までの五日間、東京都港区にある日本消防会館において、平成八年度消防団幹部研修を実施した。  
 この研修は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種教養を行い、消防団の指導者を養成するため、毎年実施しており、各都道府県消防協会長が推せんした副団長以上の幹部団員が参加して行われるもので、本年度は、全国から四十七名が出席した。  
 本会からは由利郡島海町消防団の佐藤安夫団長が受講した。

## 平成八年度 防火ポスターの 入選作品決定

### 入選作品決定

秋田県と秋田県消防協会が、小学生から作品募集した平成八年度防火ポスターの入選作品が決定しました。

応募作品は、小学校の部に十八校から五三八点、中学校の部に四校から三四点の力作が寄せられ、審査の結果小学生の部では千畑町立千屋小学校六年長谷川直美さん、中学生の部では秋田市立飯島中学校二年阿部希さんが一席に選ばれました。

ここに入選作品と審査員の一入、聖嘉学園短期大学助教授斎藤隆夫先生の審査評を紹介しましょう。

#### 防火ポスター 審査評

今年も防火思想に関心と理解のある県内の小、中学校から五七二点にも及ぶ応募作品があり、審査員一同慎重に審査しました。総体的にみて、入賞作品には、小学校低学年は、日常の生活の中から題を選んで丁寧に描かれた作品が目立ち、高学年ではテーマを如何に強く現そうと考えた作品が揃っていました。

二年 後藤 将悟  
 主題をはっきりとらえていて、色彩の対比も効果的でした。主題やレタリングも伸び伸びと素直に描いています。  
 六年 佐井 愛美  
 表現したいものだけを装飾的に、綺麗に処理しています。文字の大小、並べ方で見の人に強く訴えかけてくれます。

二年 福田 こそえ  
 赤と黒の色彩で思いっきり力強く描かれています。目玉焼きの白い部分が全体を引き締めています。  
 四年 三浦 奈津美  
 繰り返しの面白さを出している楽しい作品で、山を擬人化し、一つ一つの表情を変えた点も良かったと思います。  
 五年 赤坂 美咲  
 画面を思いっきり整理して、ポイントを明確にしています。色彩は全体的に抑えて落ち着きのある作品によくまとまりました。

二年 阿部 希  
 内面的な視点からテーマをとらえ見る人に柔らかな

二年 高橋 智子  
 繰り返しの炎、装飾的でやさしさが感じられます。

比内町立比内中学校  
 一年 吉原 美鈴  
 秋田市立飯島中学校  
 二年 佐藤 瑞香  
 平鹿町立吉田中学校  
 一年 柿崎 睦子  
 平鹿町立吉田中学校  
 二年 佐藤 梓

## 小学校の部



〈1席〉千畑町立千屋小学校  
 6年 長谷川 直美さん



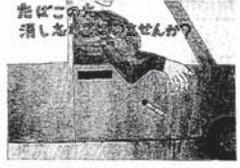
〈2席〉千畑町立千屋小学校  
 2年 後藤 将悟君



〈3席〉西仙北町立大沢郷小学校  
 4年 三浦 奈津美さん



〈2席〉大雄村立田根森小学校  
 6年 佐井 愛美さん



〈3席〉能代市立向能代小学校  
 5年 赤坂 美咲さん



〈2席〉秋田市立飯島中学校  
 2年 阿部 希さん

## 中学校の部



〈3席〉比内町立比内中学校  
 1年 山口 晃奈さん



〈2席〉秋田市立飯島中学校  
 2年 高橋 智子



〈3席〉比内町立比内中学校  
 2年 佐藤 恵子さん



〈2席〉秋田市立飯島中学校  
 2年 佐藤 梓



〈3席〉平鹿町立吉田中学校  
 2年 高橋 智子さん



〈2席〉秋田市立飯島中学校  
 2年 渡部 祥子さん

消防 半天・帯・団旗  
 優勝旗・ゼッケン  
 手拭・タオル・のれん  
 旗幕類名入染物専門

## 寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

## 株式会社タカギ

秋田県横手市寿町2番9号  
 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンパイホース  
 トーハツポンプ | シンパウラポンプ  
 各種消防機械器具 | 各種消火器  
 消防設備保守点検

森田 ポンプ ラビットポンプ  
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
 各種消火器 消防器機一式

## 株式会社 協立 能代消防センター

能代市栄町12の3 〒016  
 TEL (0185) (52)6361  
 (52)6494

# 重点目標4項目 各地で実情に沿う行事

## 平成9年度春の火災 予防運動実施要綱

春の火災予防運動が四月六日から十二日までの一週間、便利に慣れ忘れの火のこまに、全県一斉に実施される。県は住宅防火対策の推進、地域における防火安全体制の充実など四項目を運動の重点としている。各市町村、消防本部はこれに地域の実情を加味した行事を展開することとなった。

- 実施期間**  
平成9年4月6日(日)から平成9年4月12日(土)まで
- 運動の重点**
- 住宅防火対策の推進
  - 地域における防火安全体制の充実
  - 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
  - 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進

- 推進事項**
- 家庭では、一人暮らしまたは一人暮らしの高齢者、身体不自由の方を住宅火災から守りましょう。  
○「住宅防火断」を受けて、我が家の安全度をチェックしましょう。  
○万一の火災のために就寝場所からの避難経路を確認しましょう。  
○天ぷら油による出火防止及び初期消火方法を話し合いましょう。
  - 職場では、○「防火基準適合マーク」(適マーク)の確認をしましょう。  
○防火管理者を選任し、消防計画に基づき消防訓練や避難訓練を実施しましょう。  
○消防用設備等は常に点検整備を行い、いつでも使えるようにしましょう。  
○夜間における防火管理体制の整備を図りましょう。
  - 工場、倉庫での火災及び収容物などの管理を徹底しましょう。  
○防火に関する講習会や映画会を開催し、火災予防の正しい知識身につけましょう。  
○幼年、少年消防クラブ、婦人防火クラブを育成し、火災予防意識を高めていきましょう。  
○大規模地震の発生による火災等の危険性から地域社会を守るため、自主防災組織を作りましょう。

- 実施要領**
- 市町村及び関係機関は、効果的な運動を実施するために、別紙の用心7つのポイントに関する広報を含め、次の事項等について、それぞれ地域に応じた計画を立て、積極的にこれを推進するものとする。
- 広報活動  
○住宅防火対策の趣旨説明会開催  
○看板、垂れ幕、ポスター等の掲示  
○広報紙、機関紙、チラシ等による広報  
○広報車等による巡回広報  
○在日外国人に留意した、積極的な広報活動  
○住宅防火に関する展示会などの開催  
○立入検査  
○社会福祉施設、病院等の防火安全対策の徹底  
○消防法違反防犯指導の不備事項の是正指導  
○旅館、ホテル、映画館、百貨店等に対する適マーク制度の普及  
○住宅防火安全対策の推進  
○消防用設備等の点検・報告の徹底
  - 消防用設備等の点検整備  
○消防ポンプ、消火栓、防火水槽等の点検整備  
○在日外国人に留意した、積極的な広報活動  
○住宅防火に関する展示会などの開催  
○立入検査  
○社会福祉施設、病院等の防火安全対策の徹底  
○消防法違反防犯指導の不備事項の是正指導  
○旅館、ホテル、映画館、百貨店等に対する適マーク制度の普及  
○住宅防火安全対策の推進  
○消防用設備等の点検・報告の徹底
  - 消防訓練  
○地域ぐるみの各種訓練の実施  
○特定防火対象物の消火・避難訓練の実施  
○その他
  - その他

# 消防団長等幹部 海外消防事情視察に参加して(3)

秋田県消防協会 井上和吉

(3) サンフランシスコ市視察七日目、アメリカ東海岸から西海岸へ空路五時間三〇分、サンフランシスコ空港に到着。専用バスで市内を視察した。

サンフランシスコ市の人口は約七十五万人(昼間人口一五〇万人)、面積約一七平方キロメートル、坂の街である。市内にある四十三丘の一つ、二つの丘からなる「イン・ビータス」が、普段は濃霧のため見えにくい日が多いのだが、我々が滞在した二日間は現地のガイドも驚くほどの晴天、また、イン・ビータス、サマーというの地方独特の気象現象が気温が三〇℃を越える暑い日であった。丘の頂上立つと二六〇度のパノラマで空

と海が広がっている。また、ゴールデン・ゲートブリッジ(金門橋)の深い霧の中に浮かびあがる姿は、世界一美しい橋といわれている。全長約七〇〇m、四年の歳月をかけて完成している。また、二本のケーブルに使用したワイヤーの長さは、地球の三周以上の長さに相当するそうである。濃霧と激しい潮の流れのため工事には困難をきわめたという。

(4) サンフランシスコの消防団は、サンフランシスコ市消防局を訪問した。一行は役員室に通された。概要説明を受けた後、第一消防署を見学した。一八四九年ポランタマア

としてスタート、一八六〇年から常備消防が組織された。消防員数は一五九四名、署長はコミッション(市長が任命する役員会)が任命する。市を南北に分け、四方面市、一〇消防署、四十一消防出張所、十八のハンコウ車隊、レスキュー隊が設置され、ヘリコプターは配置されていない。年間出動件数六〇、〇〇〇件。救急業務は公衆衛生部で担当しているが、消防に一本化できないが検討中である。ただ、消防団は、職業として見ると、消防団員は、消防に専念している。消防団員は、職業として見ると、消防団員は、消防に専念している。消防団員は、職業として見ると、消防団員は、消防に専念している。

活し合いましょう。○「住宅防火断」(適マーク)の表示された住宅用防災機器等を備えましょう。  
○出火または延焼拡大の防止のため、防災物品や防災用品を使用しましょう。

○工場、倉庫での火災及び収容物などの管理を徹底しましょう。  
○防火に関する講習会や映画会を開催し、火災予防の正しい知識身につけましょう。  
○幼年、少年消防クラブ、婦人防火クラブを育成し、火災予防意識を高めていきましょう。  
○大規模地震の発生による火災等の危険性から地域社会を守るため、自主防災組織を作りましょう。

○自主防災組織等による訓練、避難、通報連絡、情報伝達等を中心とした各種訓練を実施しましょう。  
○防火を防ぐため、地域

午後自由時間を利用してショッピングした後、サンフランシスコの各物、ケーブルカーに乗って、近隣の観光地をめぐりました。急遽ケーブルカーの形をした箱型のバスに乗り込んだ、バスの真ん中に縦に固定された長椅子があって乗客は窓に向かっている。遊覧を見ながら、空を向かって坂道を歩く、上る度に新しい風景が広がる。

○三十年以上  
副団長 宮城清之助  
分団長 外一七六名

○二十五年以上  
副団長 小野垣政利  
分団長 外四四八名

○二十年以上  
分団長 佐藤 久  
外五三三名

○消防協力者  
○火災予防運動協力者  
○能代市 今野 良三  
○火災予防運動協力団体  
田代町 柏木私設消防団  
○優良少年消防クラブ  
矢島町 七日町子分会  
外四団体

○「住宅防火断」を受けて、我が家の安全度をチェックしましょう。  
○万一の火災のために就寝場所からの避難経路を確認しましょう。  
○天ぷら油による出火防止及び初期消火方法を話し合いましょう。

○「防火基準適合マーク」(適マーク)の確認をしましょう。  
○防火管理者を選任し、消防計画に基づき消防訓練や避難訓練を実施しましょう。  
○消防用設備等は常に点検整備を行い、いつでも使えるようにしましょう。  
○夜間における防火管理体制の整備を図りましょう。

○住宅防火断の趣旨説明会開催  
○看板、垂れ幕、ポスター等の掲示  
○広報紙、機関紙、チラシ等による広報  
○広報車等による巡回広報  
○在日外国人に留意した、積極的な広報活動  
○住宅防火に関する展示会などの開催  
○立入検査  
○社会福祉施設、病院等の防火安全対策の徹底  
○消防法違反防犯指導の不備事項の是正指導  
○旅館、ホテル、映画館、百貨店等に対する適マーク制度の普及  
○住宅防火安全対策の推進  
○消防用設備等の点検・報告の徹底

▲一般のお客様

1人室(洗面所、トイレ付) ￥3,500  
2人室(バス、トイレ付) ￥7,000

▲会員の方

1人室(洗面所、トイレ付) ￥3,200  
2人室(バス、トイレ付) ￥6,400

**ホテル あきた**

秋田市中通4丁目3の23  
(秋田県消防会館内)電話32局4111

消防設備はソフト(保守点検)が決めて!

消防設備の点検設置のご相談は  
**猿田興業株式会社**

秋田市山王六丁目10-9 ☎83-1551(代)  
火災報知設備・消防ポンプ・消火器

総合防災設備センター

**株式会社 高義 商会**

トーハツ小型動力ポンプ  
森田自動車ポンプ  
ジェットホース各種  
消防被服各種  
消防器具各種  
消防器具各種

(営業種目)

〒012-01 本社 秋田県雄物川町 函(0183)(42)2125  
〒019-05 十文字町本町 函(0182)(42)0032